治台"使

第 65 号

廣報

令和4年6月発行

一般財団法人 茨城県剣道連盟



藍 章 威 二 十 八 間 筋 兜 甲 冑 師 三 浦 公 法 作 本 兜は奈良県春日大社に南北朝時代の甲冑として国宝に指定されている 胴丸に具備する兜を、綿密な調査の基に製作したものであります。

主な記事

新たな歴史づくりへのスタート (齊藤克朗)3] 第七十回全日本都道府県 対抗剣道優勝大会初優勝 (阿部昭彦)4]
対抗剣道優勝大会初優勝(阿部昭彦)4
感謝 (松﨑賢士郎)5〕
剣道範士を拝受して(髙山陽好)
京都大会物語(髙﨑慶男)7
剣道具作りの独り言(高山能昌)9〕
第118回全日本剣道演武大会(古武道)に参加して(那須 亀)…11〕
段位審査合格者12]

段位審査合格者の声

NEBELIE 17	
· 剣道七段(菅谷正造、田端君代)······	13頁
· 剣道六段(谷嶋伸一) ·······	14頁
· 剣道五段 (森井愛満) ·······	14頁
· 剣道四段 (幕田 雅) ···································	15頁
県内·県外大会記録 ······	16頁
選抜大会選手感想(森園華乃、田中志道)	18頁
令和4年度県内剣道行事関係スケジュール	19頁
道場紹介 わたしたちの《どうじょう》訪問	21頁
事務局だより	23頁
編集後記	23頁
表紙・裏表紙「全日本都道府県大会優勝兜 他」	

温 故知

新



茨城県剣道連盟

賜り心からお礼申し上げます。 ために、多大なご支援、ご尽力を 躍のこととお喜び申し上げま 会員の皆様には、 平素は、 本連盟の充実発展の 小 ご健勝にてご 倉 培 夫

た。 年十二月に一 羽 二十七年十月)に呼応して、 立七十年を迎えることになりまし 剣道連盟に生まれ変わり、 た茨城県剣道 のとしました。 な位置付けと財政基盤を確実なも 年昭 全日 和二十 本剣道連盟の発足(昭和 般財 連盟は、 八 そしてこの度、 年四 団法人茨城県 月、 平成二四 社会的 結 その 成 創 L

各地区 染がなかなか 本年度も新型コロナウイルス感 職域においても計画通り 予断 を許さない 中 0

と思います。 0) 事業推進に苦慮されていること

とうございます。 さらに髙山陽好名誉会長が剣道範 対一と快勝、 お H いて、 に昇格されました。 動と元気を与えてくれました。 本都道府県対抗剣道優勝大会に さてそのような中、 本県が決勝で愛知県に五 悲願の初優勝に輝き、 誠におめで 第七十回 全

ことばに惹かれます。 去のいきさつを考察すべし)この 去は学べるという知恵が出ます。 りました。未来は学べないが、 新」とは何かを自問する機会とな 、未来の事態を知りたいのなら過 七十年という節目に、「温故知 過

留まることを知りません。 過去へと流れて消えて行きます。 てきて、 未来のかなたから自分の前にやっ あ って早いものです。 時 の流れは、 今、 現在となり、 川の流れのようで 絶え間なく そして

未来も、 ることは出来ません。 日々をどんなことをしても変え 私たちは流れて消え去った過去 空想、 想像はできても、 まだ届かぬ

> なければ、 現在だけです。 くしてしまいます。 私たちが何とかできるのは、 過去も未来もみんな無 今の今を大切にし 今、

切にし、 尽力いただいた多くの偉大な先生 方に心から感謝申し上げます。 そうした意味で、一日一日を大 本連盟の普及・発展にご

るところであります。

経費削減等に真剣に取り組

んで

「みちしるべ」として活用いただ ければ、この上ない喜びです。 るとともに新たな未来に邁進する を発刊し、これまでの功績を称え 創立七十年という節目に記念誌

せん。 されたりすることなく「温故知新 社会は、 きとした人生を歩んで欲しいと願 もしないことが起こるかも知れ 何が起こるか分かりません。 れようとも、 っています。 13 知恵を参考にしながら、 時代になると言われています。 私たちが生きていくこれからの しかし、どんな状況に置 変化の多い不透明な厳し 押し流されたり、 生き生 思い 潰 ゛ま

及・発展のために、 今後の課題は剣道等の正 教育の充実を いり

今はどうすることも出来ません。 となっておりますが、 人口減少、これは全国共通 の対応です。 図ること及び剣道等の人口減少へ 結 することもあり、 少子化に伴う剣道等 会員

財政にも直

の課題

の

確保、

した。 移 地域や民間の団体に委ねる 行 またこの の推進が急務と位置付けま 度、 県教委は部 「地域 活 動

皆様のお力が欠かせません。 層 のご これらの課題克服の 尽力をお願い申し上 ためには げ 尚

す。



面を借りて厚く感謝と御礼を申

ろであり、

今後の女性高段位指

のご支援があってのことで、

、この紙

ができましたことは多くの剣友

徐々に広げていきました。

新たな歴史づくりへのスタート

上げます。

みます。



松﨑賢士郎

(筑波大学)

財)茨城県剣道連盟 藤 克 朗

剣 剣

って、

やご協力の要請をさせていただき にも増すばかりでした。 次の開催日や会場の設定、 関係者への は大変なご心労をおかけしました。 振り回された一年でありました。 度末を迎えられ次年度へのスター していただきました。こうして年 ましたが、常に親身になって対応 には会員の皆様にも様々な問合せ 私たち事務局員も、 参加を予定していた会員の皆様に や延期になり、 画していた諸事業の多くが中止 コロナウイルス感染症の猛威に 令和3年度も一 連絡など業務量は幾重 それぞれの行事に 昨年から続く新 延期の際には 変更の度 そして ながら、

れの運営に配慮を加え活動 態の発令制限や感染状況を考慮し 県勢初の日本一に輝いた「全日本 た令和2年度に比べて、3年3月、 れるようになりました。それに伴 連主管の大会や審査会が実施さ 道選手権大会」の開催以降は全 そんな令和3年度を振り返って 本剣連行事も公的な緊急事 感染対策を図り、 殆どの活動が停止してし 選手が本 それぞ 奶の幅を は誠に見事であり、 予選は2位通過、

きくあったものと考えます。 と598名の減員であり、 常の活動ができた元年度と比べる 568名の登録があり前年に比べ 年度の会員数 (会費納入者) 40名増えました。しかし、 滅にはやはり感染症の影響が大 そうした動きが功を奏し令和る 会員の は 3, 通

4

みら 大会、 権では柿元冴月 が光りました。 会ではベスト8、 次にコロナ禍で開催された県外 れました。 令和3年度も順調な活躍が 全日本都道府県大 特に女子部 (守谷高⇒法政大 全日本女子選手 前の活躍

> うな各種大会での代表選手の活躍 に準優勝を果たしました。このよ 賞いたしました。また高段位者の 選出され、三重国体の関東ブロック ベルの高さを証明するものとなり 体代替大会においても第3位に入 山隆弘選手と本名和彦選手がとも 全日本八段選抜大会において、 活躍も特出するもので、 ムが招待された三重とこわか国 選手がベスト8で優秀選手に その予選通過チ 本県の剣 春と秋の 道レ 鍋

はじめ、 少の対応策として女性剣士の活躍 連では、 者を輩出することができました。 審査での井上豊先生の八段合格を b を推進しています。 適していることから、 生は本県女性愛好者に勇気を与え 中央審査会において、 るものとなりました。 中でも女性の七段合格者7名の誕 さらに審査会では、 「愛好者減少」 多くの六段、 女性指導者が少年指導に は気になるとこ 本剣 現在、 5月の京都 剣道人口減 七段の合格 六段以上の 連 の 全剣 課題

増

です。 者の活躍を大いに期待するところ

盟、 まさに本連盟の新たな歴史づくり Ļ 髙山陽好先生が範士の称号を拝受 立から70年目を迎えます。 展・充実を目指して参ります。 剣道及び居合道と杖道の普及、 等を統括する唯 の幸先の良いものとなりました。 のスタートとして、勢いに乗るため て本県が初優勝を成し遂げました。 届いてきました。 目の記念の年、 しくも本年は茨城県剣道連盟が においても、 そして迎えた令和 今年度も茨城県における剣道 全日本都道府県対抗剣道大会 大会開催70 年度初めに吉報 一の団体とし 前本剣連会長 4年度 口 その の本連 目にし 発 奇 節 創

うお願い申し上げます。 に向けて、 同 りますが、役員並びに事務局 らずまだまだ気になる状況ではあ てのご支援とご協力を賜 0) 繋げて参りたいと考えております で、 本年度も、 茨城県の剣道等の未来づくり 会員の皆様には、 さらなる充実・発展に 感染症の収束には りますよ 旧 に倍 員 至

第七 抗 + 剣 道 口 全日 優 勝

大本

都道 会初

府 優

勝 県



阿 部 昭 彦

選手・ 礼申し上 几 7 初め 度目の決勝戦にて茨城県 関係各位 一げます て優勝することが出 0) 方々に心より 来、 御

対埼玉 で逆転 潟県では、 副将矢口 対 が 鋒武蔵選手、 と逆転されました。三将阿部選手、 な面技で二本勝ち 〇で勝 0) の対佐賀県では、 試合を振り返って見ると、 一対〇にて 本勝ち、 対 五将 大阪 一県では、 勝 別利し 利しました。 選手が連勝して、 府 中堅が連敗 先鋒が二本勝しました では、 勝 五 ました。 五将松崎選手が見事 利しました。 将松崎選手が 先鋒が引分け、 Ĺ 先鋒 先鋒熊木選手 Ľ 準々決勝 三回 勢い良く四 が引分け、 B 戦対新 三対二 二回 準決 対二 連 勝 次 0

次鋒武蔵選手が一本勝ちし、

五将

が 二 13 士 面 中 0) 手 千 阪 を決めました。 本数に戻し大将戦となりました。 \Box 選手が二本勝ちを収め、 ピンチを迎えましたが、 対し見事に面を決め決勝 の代表戦は、 を取返し引分けました。 村選手は、初太刀を許しますが、 金 0) 本対三本) 本負けとなり、 の価 エース村上選手に引 負 け、 値 ました。 中 で、 三浦選手 ・堅佐々木選手が 今大会二度目 勝一 三将阿部選 分け (八段) 大将同 副将矢 同 敗 戦 点同 進 値 本 大

崎 は た選手が多く、 n 0 決 こそ許しますが出頭 らず、 に、 負 加 L れでも大将中村選手の 矢 えて、 たの 五戦全勝、 ました。 ある試合となり、 めて逆転しました。 П けてしまいましたが、 決勝戦の対愛知県では、 初優勝が決定致しました。 阿部選手が続けて勝 選手が二本勝ちをし 近本選手 は、 逆境を跳ね返す力を持 チー 二度の危機を救 大将戦負け無し 特に 4 (八段) コワー 副 五対一で優勝 0 面 将 クの良さに 大変見応え 勢いは止ま 武蔵・ に初太刀 矢 小手を た瞬 八口選手 ってく 副 そ 松 間

三回

戦

新

澙 田

2

I

3

茨

城

果で、 た試合でした。 中 村選手の活躍が大きかっ

う取りに す。 次回大会に向け、 組んで参り たいと思 連 覇できる

大会記 録

\subseteq 回 戦

大将 副将 三将 次鋒 Ŧī. 堅 北 北 宮 小 桜 Ш Ш 佐 原 (拓) 尻 (隆) 﨑 0 \times X X (X) (X) 佐々木 矢 团 松 武 熊 茨 部 蔵 村

三将

呵

部

-

岩

切

一回回

次鋒 五. 将 福 飯 久 埼 玉 塚 保 居 0 1 X 3 (F) (9) 松 武 茨 﨑 木 蔵

中

堅

々木

栄 足

花 7

矢 呵 佐

 \Box

X X

部

茨

城

2

2

大

阪

中 五. 堅 佐 松 武 熊 々木 蔵 木 﨑 \otimes -1 \times X 足 村 達 上 田 合

副将 矢 中 中 村 村 \Box \otimes (3)

X - 1 1

浦 浦

シ

茨城 5 知

松 﨑 蔵 木 (F) Ø 1 (X) 山大 串 田

中堅

X

佐々木

五.

松 武 熊

高 髙 斎 吉 木 田

嶋

橋 藤 \mathbb{H} 村 畑

 \Box

将

部

(X)

村 \Box

1

(X)

四

部

佐

々木

Ŧī.

X

蔵 木

(V) (X)

× () 芳 吉 武 賀 木

感 謝



全日本都道府県大会 松 﨑 賢士郎

我々茨城県チームを支えてくださ だいた茨剣連の先生方をはじめ、 県勢初優勝に携わることができ、 県対抗剣道優勝大会において、 いです。 った皆様に感謝の気持ちでいっぱ 大変光栄に思います。ご指導いた 勝することができました。 第七十回全日本都道府 悲願の 優

まった経験もあり、 で勝ち進むも準優勝に終わってし なりましたが、過去には決勝戦ま に芽生えていたように感じます。 る」という気持ちが、 チーム力を高めていく中で、「この した。また、何度も強化を重ね、 こたいという気持ちが強くありま 私は、 ムであれば今年こそ優勝でき 今大会が四度目の出場と 今年こそ優勝 チーム全員

出

せずにいました。そんな中、

よいのか、

自分自身では正解を見

どのように気持ちを切り替えれば

ないことも自覚していましたが、

らず、 喫し、 この日の私は気持ちが安定してお 決勝の二本負けによる精神的ダメ とができましたが、 に助けられ、 チームの皆さんがもぎ取った勝利 なりました。それにも関わらず、 戦は一本負け、 きく影響してしまいました。三回 ち上がりと思っていたのですが、 的にも二本勝ちを収め、上々の立 快勝することができました。 は、 よる一本勝ちに始まったこの試合 た。このまま戦ってもうまくいか ージを直前まで引きずっていまし したものの、 迎えた初戦、 チームに迷惑をかける形と それがその後の試合にも大 一本を取られることなく 準決勝は二本負けを 何とか決勝に進むこ 四回戦は一本勝ち 先鋒の熊木選手に 私の心は、 個人

この度、

のない試合をしてきなさい」 勝っても負けてもいいから、 悔 言でした。

てくださったのが、

阿部監督の一

ッと迷いが消えるきっかけを与え

う言葉は、 た。 き、 これまで私は、自分が勝つことが に余裕もなく、焦りや不安が渦巻 決勝戦では落ち着いて試合に臨む れたような気がします。お陰様で、 分自身を追い込んでいたため、 絶対条件と自負し、 自分の剣道ができずにいまし 監督の「負けてもいい」とい 当時の自分を救ってく 知らぬ間に自

> することができました。 ことができ、チームの勝利に貢献

層精進して参りたいと思います。 城県の連覇に貢献できるよう、 るとともに、 謝の気持ちを今後の大会で表現す を得ることができました。この感 た今大会では、多くの学びと課題 皆様に助けられてばかりとなっ 次回大会において茨



剣道範士を拝受して

した。

当時は小澤武館長を始めと



高山陽好

りま このことは長年 指導を頂いた先生方、一緒に修業 た。 あ 続けてきた仲間 道 感激しております。これも偏にご 名誉であり大きな喜びでもあり きた私にとりましてこの上ない ると心から感謝する次第 薦を頂いた小倉会長そしてご 範士の称号を授与されました。 この度全日本剣道連盟より ありがとうございまし 剣道を修業して の皆様 のお蔭で であ 剣

かり うこともあり道場 館 年八才の春、 た時からです。子沢山の時代とい に戦 私 0) が 仲間と竹刀を振ってい 後第一 剣道を始 再建された水戸東武 期 生として入館 め たの から溢 は れ 小 学三 んば ま L

次郎、 したものです。 間 終えてから夜の道 てきたこともあり学校 時 とを懐かしく思い出します。 ば 大先生方がぞろりと基立ちに並 して森山繁雄、 の野澤龍之先生達と切 代は腕前 れて必死にかかっていったこ 清水千里、 が上って面白くなっ 佐藤信雄、 中 場 村広修などの 0) 稽 0) 古で仲 部活を 磋 小澤武 琢磨 高校

大学時代、警察官時代はそれぞれの剣道環境で稽古したり、またはほとんど顔を出せない状場にはほとんど顔を出せない状況でした。在職中の平成十年に八段位を頂いたことは大きな自信となりました。

任者として上田忠夫師範を始 北 7 0) 供 少年指導に当たることになり、 動 小 辰 います。また館伝承の古武道、 を肌で感じながら稽古を続け 達がどんどん強くなってい 澤智館長から師範を命ぜられ を再開することになりました。 警察退職後、 刀流 につい 東武館での剣道活 ては 修 業の

> ŋ とする中学生以上 道体験等を行っております。 、ながら公開 修業を重ねて剣 演 武 P 技 0) 外国 館生ととも 0) 向 一人の武 上を図

生おめでとうございます」と大きはたちからキラキラした眼で「先に顔を出したところ教え子の子はたまれました。拝受後、道場はいちからキラな中で範士という僥

てこれ こ の した。 よう日 た。 心 な声で挨拶されました。 から 七十八才という高齢者ですが 子 以上 たちのよい 嬉しく Þ 精進行く覚悟が出 の祝福の言葉は 感動させら 、目標に 私にとっ なれる れ まし なく 来ま



京都大会物語



髙 﨑 慶 男

って おり、 歴史と伝統がぎっしりつ とよんだ風情に 芭蕉の は のメッカである まさに竹刀を握るもの 異常な熱気がただよってい 毎回が新鮮で、 振りの京都 都京都は 兀 「夏草や兵どもが夢の跡 +回近く上洛した私にと 緑 つつまれ 大会には がみずみずし 武徳殿の雰囲 てい まって 剣道 (n) 味わ る。 0)

·で十三時間

車

を圣て京都に入洛、 五月三日仲間の女性剣 岸さんが車で十三時間の長旅 大病を持つ 士 坂 田 私 さ 岸さん





女性剣士

ホ ル で待つド 1 人剣

士

でい さん r V 空手二段の腕前で、 剣 配 授である。 そ 読 と質問したら剣道 女 0) 3 ダ 二十八年前にさかの つ 13 してくれている。 交流が続いており、 日本の武道文化を深く求めて 道四段、 し 0 む は日本語 受講生 ナーと昇 0) ていた。 る天才的素養の持主である。 ホ た。 て暖かい 彼女は現在長崎外 競技だからと即座に答えた。 ア がご主人の下里亘さんと待 テルにマラク・ ムスでヨーロ 私が で、 来日二十六年間ずっと 杖道三段、柔道二段、 段審 マラさんとの が K 物心両面の支えを 何 達 者腕 故 査 イ ちなみに彼女は -ツ 人 剣 に同 は 私の大病を心 外人らしくな ぼ ラウデ 相 道 前 ツ る。 語大学教 手 を Ł で パ 行 0 Þ あ 剣 出 ぬ オ ノイア 心を るの きん る彼 た時 一会は 道 マラン セ

私

0)

立

合



ドイツ人剣士 マラク・ラウディアさん

今 回 0) 八段審查合格

にとって感謝以外に言葉がない。

潟の 動する。 で何んと日本一 h が合格、 Ш 口 田 0) 共栄館 八段審査の合格は 素晴 の難関であ L の門人吉田 13 師弟の 絆に る。 仁さ 五. 感 新 名



山田義雄先生

共栄館館長

果、 高齢剣の会長と名誉会長との盟 b 合せとなった。 年間手合せがなく、 範士と大トリの組合せだっ 友同士である。 ため欠場となり、 一から楽しく味わ 連と私の意見を含め協 便りを頂 私 岩立範士と私は今まで二十 0) 演武 は いてい Ш 十七歳の年 \Box たが 1 県 岩立範 前代未聞 たい 0) 体調 坂 、 と 何 議 土が た。 井 齢 年 0 0) 不 差、 先 組 五 良 度 夫

私の命の恩人

剣

0)

生

本番 席にて主治医の野 自由なので手とり足とりの んに着装して貰う。 五. 日 は 右耳は聞こえず左耳は 武道センター 守 私は手足が不 先生と岸さ . 0) 範士集合 始 末、 補

> 躍 数 13 私 えている。 11 1 範 で 聴 メ 配 わ なし、 如 1 着替えをしていると携帯 慮してくれた。 士 せるが蹲踞できず情ない。 0) 通 0) 面 演武である。 の思いである。 ル 0) が からの鋭い面打ちを何 体 をはずすの が届いた。 感動した立合だったと 調を心配して短 範士 間 立会の佐藤成明 があいた時小さなゆる の頭に で 九十九歳 演武が終り平 東から竹 乗 眼だけ った 先生 演 0) 0) 刀を合 0 岩立 ح 13 は 武 状 面 服 覚 態



岩立三郎範士

立合相手

間 演 徳 覚 調 いう悪病にかかり、 ね して養生をかさねた。今尚平 柄 武 殿 は を野守先生の熱意ある看 二年前の八月に が終り 0) 0) ままならぬ状態であるが 0 床 至 言が身にしみる。 を踏む希みがかなっ 福 ・野守先 の果報者は見あたら 生 間質性 再起不能 0 「良かった 肺 · 衡感 護 炎 武 体

ない。



私の命の恩人 野守先生

範士合格

祝う名句を頂く

剣友高橋守さんが私

0)

白寿を

追記

九十九折の道を竹刀と歩ま

れ

た

足跡学び白寿を祝

Š

好先生が全剣連の地域重視の 号として晴れの授称である。 第

マラさんの贈り物

崎先生へ、二羽鶴の分を食べて一 も京都大会に参加できますよう にと添書があり、 して、萬里の先まで見透して来年 羽鶴の分を飲んでお体を大切に 臥牛窯二客届く。そして萬里心髙 前述のマラさんから素晴 感激した。 いい

静

から動機を見て打突愉しめと

求め諭され白寿を過ぐる

あとがき

力の冊子」で述べているが、 色の書家篠田桃紅さんが「百歳の 会の床を踏むつもりである。 もかなえられない望み」をもって 一〇七歳まで天寿を全うした異 余生を大切にして五月の京都大 来年一月十六日百歳を迎える。 一誰

温

厚で分け隔てなき白

1寿の師

る

六日、範士合格は八名で髙山陽

砲 弾の傷痕残る手で握 竹刀が 醸 す剣 禄無限

る

る肺気腫持病微塵も見せぬ の稽古下がるを知らず 追

あ 師

歳 京都演 百 向けて愉しむ途すが の一歩今朝 武 卜 ij を目 13 指さる 始まる 5

百

成

せ

ば成る夢

0

実現示され

7



剣友 高橋 守さん



に託したい と述懐されている。 私の切なる蘖

いること。それが生きる源である

謝

よるとされている。

袋竹刀は以

前

の荒稽古にも応えられる剣道具

間に一刀流中西忠蔵の子、

武に

代館長小澤

郎の意を受けて東武

元祖との定説であ

る。

(剣

道

日

本

道場に寄宿

朝夕は稽古に励み

ツル、

中

柄皮はこれが

者小澤寅吉の兄敏行の子小澤宣の

され

てい

たが四

割竹、

作 館

りの修業に入った。

東

武

武館創始

剣道具作りの 独 り言



髙 Ш 能 昌

> 0 加

有り、 画 ると命を落とすか良くて重傷であ やかだが中味がない)と言われた。 は形稽古が主流で、 での剣道 礎を作ったとされている。 直心影流、 様式は江戸時 た。一部には竹を籠状に加工 竹刀 かし立会をする時は木刀で素 素甲手で無防備状態、 現在使用されている剣道具の 古文書等で見受けられた。 はすでにご存知で (四ツ割竹) (甲手、 (剣術と当時は称した) 長沼四郎左衛門国郷が 代中期 小手)なるものは 華法剣道 の採用は宝暦 E 一徳年 打たれ それま しょう . 間 L

私の所も竹屋流の流れを祖とし

九九五、二月号より) 竹刀の使用により る。

稽

等により特徴が現れ関西は梅田号 剣道具も地方地方の剣風、 盛んになり併せて剣道具も改良さ 江戸時代末期には武士のみならず 人々が剣道をする時代となった。 く頑丈)と今でも散見され 広く庶民の間にも剣道修行者が増 (軽くて柔らか) 関東は竹屋流 た。 現在の型が完成された。一方で 無念流、 古もより実戦的となり多くの 思想の下、 私の住む水戸でも 益々の隆盛をみるようにな 剣道具、 北辰一刀流、 尚武の地として神 水府流 (尊王攘 る。 稽古法 **室** が ユ

夷

道

れ

まりである。 武 雄 大正七年に私の父の師 として多くの皆さんに愛用 ている。質実剛健な水戸 11 る。 館の隣りに店を構えたのがはじ (剣道範士、 水戸で製作を始め 森山師 東武館師 匠は東 匠 範 の剣道具 森山繁 たのは **八武館**二 頂 が東 がいて

> 門の水戸浪士) して大正二年に開始した先達であ 剣道具作りを当時名人と称された 一代目竹屋弁蔵の下へ通い弟子と 森山繁雄は森山繁之介 の甥である。 (桜田

大正七年は水戸の剣道具のデビ

そしてGHQにより剣道禁止令が

師匠は 兵治 た。 は今でも語り草である。 を相手に荒稽古の片鱗をみせたの と弟子達に東武館での稽古を課し 修業しないと本物は作れない。」 は十六歳で郷里山形県の先輩伊藤 っていると「よし!やろう」と弟 吉が剣道経験者とは信じられず疑 森山師匠の下へ弟子入りをした。 ーの年である。 余談になるが私達子供は父長 (小澤一郎の内門弟) 「剣道具を作る者は剣道を 私の父髙山長吉 の縁で

n 事だった。 も時代の要請で量産を強いられ夜 が有り、 屋と三年程続けた後、 を上げるには絶好の時代であった。 鍋 て認められた。 公七年お礼奉公一年と厳しい 父も職 の武者修行を京都、 弟子入りした時代は先ず丁稚 その後一人前の職人とし 人となってから剣道具作 又これは職人として腕 休みなしはごく普通の 水戸の剣道具作り 水戸の 剣道 制 度 奉

> 終戦となった。 が高まったのもこの頃からである。 下に戻った。 具 も空襲に見舞われ焼け野原になり が一 しかし昭和二十 番との 水戸の剣道具の名声 信念を強くし 年八月水戸の街 師 匠

灰燼と化し剣道も剣道具作 なった。 出され苦難の 当然森 Щ 剣 時 道 代を迎えることと 具 店も東 八武館 :りも出 Ŕ

恩人である。 武館四代館長 える場所も面倒見てくれたの 時に住む所を提供してく ってくれた。 は針を持つ事を生かして洋服店 来なくなった。 始め苦難な時代を頑張り家族を養 戦災で焼け出された 小澤武先生で正 職を失った私の父 れ 店を構 は 一に大

然剣道 交流 えて来た。 働 ことになった。 工賃の高騰もあり、 められ愛好者が急激に増えると当 も正式に入館し稽古を始めら 除となり、 力を求めて海外へ出る業者が増 昭和二十七年に のあ 用 0 具 た韓 最初は 東武館も再建され私達 の製造が間に合わず、 国 社会教育として認 剣道 様々な手仕 生産拠点を移 徐々に安い 禁 止 一令も れる

手刺剣道具から機械刺

(ミシ

いる。 道 得 っている。 ている。 製造方法の工夫で良い製品も出来 し製作より販売へと変化せざるを の常で、 安い所へ生産拠点が移ることは世 労働集約型の事業形態では労賃の トナム等と東南アジアへ移って 衣、 なくなった。素材の改良進歩、 剣道具へと変わっていった。 袴等の大半が海外依存とな 国内での生産は急激に減少 今では中国、フィリピン、 現在は剣道具、 竹刀、 剣

私がこの道へ入ったのは学生時

がするから父さんは止めてくれ

初期 作 が針を持ってお客さんの要望に応 弟 減少してしまい増々技能の伝承に ることなくご希望に添えているの ると昔のようにお客さんを待たせ に少なくなっている。 えている。 衣料等も同様である。 具ばかりでなく食料、 支障をきたしている。 の使う特殊な道具、 時 の最盛期 (日立店) 数年前から(面ふとんを短く) 内での製作が縮小すると職人 代の変わり と比べると仕事量ははるか しかし私が経験した製 長男、次男(水戸店) 昭和三十年代~平成 目かも知 素材の供給も これは剣道 見方を変え 私の所では 工業製品、 れませ

機 合用、 心配事である。 いるようで剣道具の防具としての 甲手の肘を少し短く)とお客さ 面 能が二の次で作る者にとっては の注文が細かくなっている。試 金を軽 稽古用と考えて使用をして チタンがアルミに)

真骨頂であった。 仕事をする正 代を頂けるか!!」と度々怒鳴ら 指 て覚える状態だった。 で仕事は教わるものではなく慣れ 剣 ず 就 機 水戸伝来の良い剣道具を作ってい 代に剣道部に所属してい n れ 13 つ教えてもらった。 0) るネ!!」と自分の剣道よりも父 0 な所で稽古をした折に「君は水戸 た。 (道具作りも忙しくなりだした時 髙山武道具の息子か?父さんは 叶わない仕事には厳しく叱正さ い中で職場の先輩からは少しず 導を受けた記憶は全くないが忙 水戸に戻った。 職口もそれなりに有ったが迷わ であった。 剣道具作りを褒められた事が動 「こんな仕事でお客さんからお 使う人の身になって最高の 卒業を間近かにして 一に頑固 しかし時と共に 昭和三十八年は しかし父の目 徹な職 父から直接 て、 色々

の意地、 私は心を鬼にして「この仕事は俺 善を求めたが何としてもミスを認 8 てそれとなく何度か注意をして改 あった。 父子の間も立場が変わる出 許されなかったのである。 ない強情であった。 絶対な自信、 父の仕事に度々ミスが出 プライドが 職人として そこで 来事 が

にはとても及ばない事も身をもっ 常に自分に厳しく仕事を続け最高 客さんに「これで良いのか?」と と引導を渡した。 て思い知った。 をした息子であった。 伝統の水戸の剣道具を愛用 って仕事をしてきたが父の全盛期 8 0 | 剣道具職人に対して残酷な宣言 んなさい) 以来私も全責任を持 (父さんご 川頂 くお

> る店であることを肝に銘じて勤 もりでいる。 何でも教え好々爺に徹しているつ な ている。 いようにしている。 そして剣道愛好者のお役に立て ったが後継者達の邪魔にならな 現在私もその 頃の 訊 父と同年代に かれる時は



和 一十九年 小沢武館長 高山能昌 髙山陽好 寒稽古 (館長前左 (中央) (館長前右

昭



髙山能昌 和三十二 左 三年頃 森山繁雄師匠 店の旅行にて 右 髙山長吉

-成十二年八月

作業中

筆者

大会(古武道)に参加して第18回 全日本剣道演武 演武



石鶏舘小野派一刀流

那 須 亀

大会)が3年ぶりに、 から4日間 岡崎の武徳殿にて去る5月2日 全日本剣道演武大会 開催された。 緑風薫る京 (通称京都

が、 を遵守しての実施であった。 な であろう。 剣道連盟及び主管剣道連盟の厳格 イルス禍での開催であり、 約 未だ終息を見ない新型コ 現状況下では致し方ないこと 感染拡大予防ガイドライン」 4 割減の参加規模であった 全日本 口 例年 ーナウ

Ш は3組ない 回で8回目の参 より出場し、 石鶏舘一 今年は石山 那 領の2組となった。 ,し4組 刀流会」 2回の中止を挟み今 [舘長 加となった。 0 エントリー 一海老原、 は平成25年 昨年5 例年 だ 秋

1

たずらに勝敗を争う場でなく、

除く)。 元会、 葉宏道会の陣容である(海外支部 古場 月に小野派一刀流18代宗家より今 H までの活動が認められ正式な稽 他には大阪長生館、 (支部) 中野松元会、 として認可登録され 交流道場の千 警視庁松

せている。 体的に工夫した技を会員に研修さ その趣旨を強く継承し、 で指導を行った。 古流であらねばならない」 ことなく、 る。 剣道指導室に継承されたものであ った故松元貞清範士(松元会)は、 造宗家から直接教授された警視庁 単に忠実な形の継承にとどまる 石鶏舘の一刀流は、 その主導的指導者の一人であ 現代竹刀剣道に利する 石山陸紀舘長は 16代笹森順 さらに具 の趣旨

場・ が 徳会京都本部師範に招聘した。 藩出身の内藤高治 正位は天下一の英名を望み、 明治32年、 大きく権威ある大会であった。 早稲田大学師範)を大日本武 時この大会は国内で最も規模 京都裁判所所長楠木 (牛込養真館道 水戸

> 感謝し拙技ながら奉納できる喜び 演武は、 0) の至りではあるが、 場であった、と古書にある。 古式ゆかしき武徳殿大道場での

機会であった。

年の精進の精華を世に問う演 己の技量を顧みるに汗顔 修行の無事を 武 剣



石鶏舘+警視庁+中野松元会 記念写真

ただけるだろうかー。 レ』と来年もこの都路にお呼び さあーて、 士たちよ 内藤先生には 『ミチノタメキ 郷里 夕



演武 刃引き 那須 亀×秋山 隆 教士七段

再们署置 名林君	设立室至公安当
会場 名古屋市枇杷島スポーツセンター	期日 令和四年五月十四日

剣道称号合格者

桐原

南波

訓生 徹也

央才

令和四

[年五月十

五

畑

風斗

誠

範士号

会場 期日 令和四年五月六日

髙山

令和四年五月六日

京都市武道センター武徳殿

海老原

努

大田

期日

駒田 渡辺

小嶋

吉田

北沢真理子 河田 俊一

期日

令和四年四月二十九日

会場

京都市体育館

期日 令和四年五月六日 京都市武道センター武徳殿

剣道段位合格者

期日

令和四年五月十五日

早苗 勇二

阿部 樋口

「ゆう子

月十一日代替

田所

康司

吉村惠津子

大助

県武道館

期日

令和四年三月二十一日

剣道四段

名古屋市枇杷島スポーツセンター

剣道七段

期日 令和四年二月十九日 山梨県小瀬スポーツ公園武道館

新野

大関

吉田

正造 中薗

期日 令和四年四月三十 Ħ

京都市体育館 圷

京都市武道センター武徳殿

剣道六段

期日 令和四年二月二十日 山梨県小瀬スポーツ公園武道館

期日

令和四年五月十五

 \exists

米山

益子

剛

八木

菊地慎之介

田原

博之

塚本紗英子

県武道館

五木田美佐代 伸一 学史

神庭 修恵

長谷川修也

義英

福田 金子

山﨑 髙田 冨田美恵子

由波 松山 光

日時

令和三年十二月五日

大都 麻里

朋宏 秀司

弘之

居合道段位合格者

居合道五段

かすみがうら市わかぐり体育館 佳男

日時 令和四年四月三日

黒澤 飯田 かすみがうら市わかぐり体育館 弘樹 剛 佐藤 岡部亮太郎

正憲

野呂宗一郎 久保木秀幸

居合道四段

奈良嵜柊希

颯生 日時 令和三年十二月五日

海老原

望月健太郎

かすみがうら市わかぐり体育館 若林美咲枝 明子

小 栗川 山

期日

令和四年三月二十1日(二月十1日代替)

県武道館

- 12 -

日時 かすみがうら市わかぐり体育館 Nagai Lourencao Gilvicente 令和四年四月三日 鈴木はるみ 吉川 増夫

須

崎紀夫先生、

今泉源司先生、

麻

杖道段位合格者

杖道六段

期日 令和四年一月二十八日 江戸川区スポーツセンタ 健

段位審査合格者の声

子供たちと共に

谷 正 造

山武夫先生 することができました。これもひ 査におきまして、 度、 旧 令和四 行方少年剣友会、 故羽生勝義先生、 年二月 剣道七段に昇段 の昇段審 故平 河

と考え、

七段挑戦という目標を立

上のご指導、

ご鞭撻を賜りますよ

つ一つ反復確認することで、 剣道と真正面から向き合い、

自

(構え、

足

悪癖を修正

てました。

とはいえ、

対人稽古が

うよろしくお願い申し上げます。

で、

稽古と言えば、

生徒たちが下

な期間ととらえています。

部削り取ることができた貴

許されない時期でもありましたの

見て、 きに努力を続ける生徒たちの姿を な中でも目標を見失わず、ひたむ 定していた練習でさえできないと いで中止。 い稽古に取組むも、 でした。目標に向かって毎日厳し 務 背中を押してくれたのは、 あ うな稽古もできず、 ましたが、 げます。 だいたおかげと心より感謝申し上 さや厳しさ、 いた全ての方々から、 5 村 大曽根善治先生、 生 L 自 いう状況が続きました。そのよう でも力になれることはないか」 分ができることはないか」「少 する中学校の剣道部の生徒の姿 りました。しかし、そんな私の 現在に至るまで関わっていただ 田修先生をはじめ、 中学校剣道部、 頑張る子供たちのために 今回の審査で合格を頂き 練習試合も行えず、 コロナ禍の中、 正しさを教えていた 麻生高校剣道部 青木利宏先生、 不安や迷いも 大会等は相次 大学時代か 剣道の楽し 現在勤 思うよ 予 え、 切り、 考えています。 だいたように、 であります。 本に返り、

ジ稽古では、 意識しました。色気を出さず、 ち切る」といった基本的なことを ている、「気合を出す」「攻める」「打 ジ稽古が中心でした。 校した後に練習場で行う素振りや 打ち込み、 防具を付けてのイメー 普段生徒たちに話し 特にイメー

これまで蓄積してきたものを出し 供たちに剣道の素晴らしさを伝 れからも努力を重ね、 恩に報いることができるよう、こ ずに、これまで皆様から頂いたご だまだ技術的にも人間的にも未熟 はないかと思います。今回七段に ない稽古をと心がけたことが、 いります。また、自分がしていた 合格させていただきましたが、ま ロナ禍の中での稽古不足を補い 剣道発展に貢献できたら、と 良い結果につながったので 子供たちに恥ずかしく 感謝の気持ちを忘れ 少しでも多くの子 今後も、 精進してま 今まで以 さばき、 ました。 ることはできない!と意識を改め ません。穴が空いたままのバケツで 悪癖(無駄)を挙げればきりがあり 先生方、 きました。これまでご指導頂いた諸 審査において、合格を賜ることがで していかなければ、 ってしまうのと同じで、 は、どれだけ水を注いでも抜けて ひきつけが甘い」「打ちが軽い」等 お借りし心より御礼申し上げます。 「右手打ち」「顎が上がる」「左足 この度、 合格までに三年を要しました。 正しい基本動作 剣友の皆様方に、 竹刀保持、 令和四年四月の京都七段 体の入れ方)を 剣道の質を上げ

多くの方々に支えられて



田 端 君 代

策での稽古自粛中は、不安や焦りと が刀振りや所作を確認し、一人稽古 での土台作りに努めました。また、 これまでの稽古時にご指導頂いた これまでの稽古時にご指導頂いた 点や稽古後の気づき・課題を必ず剣 が、再開後に注力すべき項目を明 でので、再開後に注力すべき項目を明

た。
た。
だら、列挙した項目の修正に努めまとご指導頂ける幸せをかみしめなとご指導頂ける幸せをかみしめな

審査当日は、これまでご指導頂いた事を繰り返し声に出すことで気持ちを高め、「打たれてもよい」覚悟で臨みました。大きな声での充実悟で臨みました。大きな声での充実けた気勢と初太刀から迷うことなく打ち込めたことが、今回の合格にく打ち込めたことが、今回の合格に

族に感謝いたします。
に、一番の理解者・協力者である家
っのしくお願い申し上げます。最後
ろしくお願い申し上げます。最後

感謝

の為稽古時間が取れない

0)

が最

とも皆様のご指導ご鞭撻をお

型コ

ロナウィルス感染防止対



谷嶋伸

この度令和四年二月二十日、山梨県で行われました六段審査会において合格する事が出来ました。 これもひとえにご指導戴きました茨城県剣道連盟、鹿島地区剣道連た茨城県剣道連盟、鹿島地区剣道連の先生方、茨城青利四年二月二十日、山梨

新型コロナウイルス感染症の影響で剣道活動の自粛、大会等が中止となる状況下で受審するべきかどうか悩みましたが、修行の評価とおけ話になった先生方への感謝と昇世話になった先生方への感謝と昇

今では当たり前の事ですが、面マ短く集中して中身の濃い稽古をすに最初は大変苦労しました。時間をによった。時間をはいれば、では当たり前の事ですが、面マ

しかし職場が鹿嶋市で遠距離通

大の悩みでした。そこで職場に近い大の悩みでした。そこで職場に近い

先生方に厚く感謝申し上げます。宮本尚朋会長はじめ神宮道場の

高段者の先生方に戴く稽古でいつも指導される事は、初太刀を取るって打つ事、理にかなった技を出すって打つ事、理にかなった技を出すりに次の事を頭に置き稽古しました。迷わない事、打ち切る事、我慢する事です。

が稽古に励みました。て六段は技術的にハードルが高く、可底到達出来るものではないなと対ないなと

今回初めての受審でしたが、過度な緊張も無く、適度な緊張感で臨むことができ、諸先生方の教えを立合ことができ、諸先生方の教えを立合いで表現できたかなと思っており

ができる環境になる事を願い今後症が終息し、普段通りに稽古、試合症が終息し、新型コロナウイルス感染

といり、申しあげます。

学びの多い挑戦

森 井 愛 満

「相手の中心を取りなさい。」

「攻めてから打突しなさい。」「攻めてから打突しなさい。」「攻めてからなくなってしまった。そると分からなくなってしまった。そると分からなくなってしまった。そると分からなくなってしまった。

に挑戦することにしました。 広がるかもしれないと、 ようになりましたが、 校で勤務し、 ました。社会人になってから、 稽古する機会がほとんどなくなり ていたのだと思います。 人と稽古する時はいつも上段でし 高校で上段を取ってから、 中段に自信もなく、 中段で一緒に稽古する 高校生以上の 指導の幅が ずっと逃げ 中段で昇段 中 中学 ・段で て考え、意味を理解しながら行うこ

中段で道場の先生方と稽古するようになったような気持ちになりました。戸惑いながら半信半疑で稽古している私に、道場の先生方は丁寧に指導してくださいました。稽古の後も「私たちも形の練習になる。」と形の稽古にも快く付き合ってくださいました。温かいご指導のおかげで、どうしたらよいかが明確になりました。

審査当日は先生方の言葉を思いができ、合格することができまし

形を一からご指導いただいたこと が長くなりました。 生よりも攻めが強く、攻め合う時間 勉強だと思って以前よりも前向き ますが、生徒に指導しながら自身も 攻め方など、まだまだ未熟ではあり って稽古しています。 稽古した経験のおかげで、 と稽古する機会が増えました。中学 .稽古に励んでいます。また、 審査後に勤務校が変わり、 刀の扱い方や理合について改め 今回、 打突の好機や 先生方と 自信をも 高校生 剣道

教員として、剣道の面白さに気付き、夢中になれる生徒を技術的にも育てていくことが先生精神的にも育てていくことが先生精神にも一生懸命取り組みます。自身の稽古にもより一層励みながら、指導にも一生懸命取り組みます。

剣道四段に合格して



田雅

の開催にご尽力くださいましたする世でいただきました。まずはこのさせていただきました。まずはこのはまな借りし、ご指導いただきました諸先生方、一緒に稽古してくれたた。まずはこのの開催にご尽力くださいましたす

「攻める」ということです。 よう、 引くことなく攻めに変えることが ていました。この反省から、 では試合に出場する機会を頂いて とではなく、気持ちで攻め勝つこと に一つの課題を与えました。 しました。 できる強い心を持つことができる をできるようにすることです。 べての皆様に御礼申し上げます。 めて崩して打つことと、劣勢からも った技を出すことができなくなっ いますが、 に間合いを詰めて、技を繰り出すこ 今回、受審するにあたり、 日々の稽古に取り組むことに 勝敗にとらわれ、 思い切 気で攻 ただ単 それは 私自身 大学

審査会直前、新型コロナウイルス審査会直前、新型コロナウイルスでしまいました。私は実家に戻り、てしまいました。私は実家に戻り、てしまいました。私は実家に戻り、たに稽古を継続しました。また、日めの稽古を継続しました。また、日本剣道形においては、ただ形を覚えるのではなく、動作や木刀の使い方など、一つひとつの理合を良く考えながら、時間と数をかけて稽古しました。

審査会当日はとても緊張しまし

ます。 崩し、 て、 重ねてまいりたいと思います。 は、 ずできたことが、良い結果につなが たが、これまで稽古してきた、 念」の探究を続けていきたいと思 道家として、 ったのではないかと思います。 この経験を糧とし、更に精進を これからも学び続ける一人の剣 機会を捉えた打突が少なから 一番大切な「剣道 攻め の理

末筆となりますが、貴重な投稿の 機会をくださった茨城県剣道連盟 機会をくださった茨城県剣道連盟 き続きのご指導をお願い申し上げ まして、私の合格体験記とさせてい



県内・県外大会記録

		5									4								1										12		11	月
8	,	7								29	17		20						16			26		12					12		21	日
第9回関東高等学校剣道大会茨城県予選会	第	第9回関東高等学校剣道大会芡城県予選会				兼全国道場少年剣道大会茨城県予選会	第48回茨城県道場少年剣道大会			第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会	第20回全日本選抜剣道八段優勝大会	〃 (女子個人)	茨城県高校剣道新人大会(男子個人)					茨城県代表選手選考会	第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会		対抗剣道優勝大会	第69回全日本都道府県		居合道支部対抗大会				交流大会茨城県大会	第44回全国スポーツ少年団剣道	「とこわか剣道大会」成年女子	三重とこわか国体代替大会	事業名
かみす防災アリーナ	1	かみす防災アリーナ					ひたちなか市総合体育館			エディオンアリーナ大阪	愛知県 中村スポーツセンター		石岡運動公園体育館						県武道館			和歌山ビッグホエール		ひたちなか総合体育館					県武道館		ゆめドームうえの	場所等
優勝 森園華乃(守谷高) 第2位 五十嵐和奏<女子個人戦>	優勝 田中志道(水戸葵陵高) 第2位 大輪結世	<男子個人戦>	賞 境剣友会A 御城館A 俊	憂券 ハばらき少年削友会A 隼憂券 芳明涫A/中学生の竒〉	◇□至三)β/ が闘賞 鬼怒西剣道クラブB 小川少年剣友会A	いばらき少年剣友会A 準優勝	学	中堅 佐々木陽一朗 三将 阿部莞太 副将	鋒	優勝 茨城県	本名和彦 ベスト8 (三回戦敗退)	優勝:森園華乃(守谷)2位:村田結依(守谷)3位:町田結依(茗渓)	優勝:熊木隆汰 (葵陵) 2位:髙木滉大 (土浦日本	大将の部:1位:中村裕一(水戸)2位:有田祐二(つくば)	副将の部:1位:矢口二三也(つくば)2位:青木宏介(守谷)	三将の部:1位:阿部莞太(県警)2位 恋	中堅の部:1位:佐々木陽一朗(つくば)2	五将の部:松崎賢士郎(つくば)3位:二宮司	次鋒の部:1位:武蔵治斗(明治大)2位:髙橋靖登	神部栄司(三将)矢口二三也(副将)飯田真巳	選手:吉倉百汰(先鋒)武蔵治斗(次鋒)松﨑賢士郎	3回戦敗退 優秀選手賞:松﨑賢士郎	,	1位:土浦A 2位:古河A 3位:守谷A、	3位:興野愛理(常陸太田市)敢闘賞:川井杏夏(常陸大宮市)	<中学生個人女子の部>1位:櫻井菜成(+	3位:松山大和(土浦市)敢闘賞:神賀順遠	<中学生個人男子の部>1位:浅野達彦(土浦	<小学生団体の部>1位:日立市 2位:ひたちなか市	監督 金井優子 先鋒 海津みなみ 中堅	3位入賞	摘
和奏(守谷高) 第3位 村田結依(守谷高)	世(水城高) 第3位 酒井大翔(水戸葵陵高)		鬼奴	· 第3立 - 吉成尚氏馆A - 水毎首創道效室A	A	A 第3位 明		付 矢口二三也 大将 中村裕一	武蔵治斗 五将 松﨑賢士郎			1) 3位:町田結依(茗渓) 岡本典華(松陽)	: 髙木滉大(土浦日大)3位:永座蒼大(土浦日大) 神賀士道(茗渓)	7日祐二 (つくば)	1:青木宏介(守谷)	齊藤奨(県警)	(つくば) 2位:堀川峻(つくば)	当司 (鹿嶋)	: 髙橋靖登(鹿屋体大)	飯田真巳(大将)	松崎賢士郎(五将)山下和真(中堅)		佣B	A、守谷B	井杏夏(常陸大宮市)	(古河市) 2位:飛知和結奈 (鉾田市)	敢闘賞:神賀順道(ひたちなか市)	(土浦市) 2位:柴田陽輝 (ひたちなか市)	なか市 3位:つくばみらい市、牛久市	小松澤映吏子 大将 川上厚子		要

		5)
28	22 21	13 12
全国教職員剣道大会県予選会	第13回茨城県少年剣道選手権大会兼全国予選会第14回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会第13回茨城県少年剣道選手権大会兼全国予選会	第69回関東高等学校剣道大会茨城県予選会第69回関東高等学校剣道大会茨城県予選会
	県武道館 ひたちなか市総合体育館	県武道館
男子 山下拓真(土浦日大高) 女子 星野若葉(波崎高) 大稱 山下克久(竹来中学校) 大将 山下克久(竹来中学校) 以下克久(竹来中学校) 以上,一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	優勝 守谷高 準優勝 茗渓学園高 第3位 岩瀬日大高 でいかい () では、) には、) では、	守谷高 準憂勝 茗奚学園高 第3位子団体戦〉 - 排

全国高等学校 剣道選抜大会を通して



この度、三月二十六日から二十八

守谷高等学校 袁 華 乃

りました。 たが、日本一を目指し大会に臨んで りました。敢闘賞と私自身、 日に愛知県春日井市で開催された、 いたので、悔しさの残る結果でもあ 選手賞を受賞することができまし れてしまいベスト8という結果であ 勝で惜しくも大分県明豊高校に敗 大会に出場してきました。 第三十一回全国高等学校剣道選抜 準々決 優秀

て、 初戦は 舞台を失い泣き崩れる先輩方の姿 れる中、 影響により各大会の開催が危ぶま を私たちは見てきました。 全国選抜大会、そして夏のインタ し続けてきました。しかし、 ハイの中止が決定し、 日本一という目標を諦めず努力 昨年は、 先輩方は大会開催を信じ 福井県の敦賀高校との対 新型コロナウイルスの 挑戦する 今回の 春の

す。 方と同じように悔しかったと思いま ました。 型コロナウイルス感染症の影響を受 敦賀高校が棄権となってしまい 敦賀高校の選手も、 先輩

でありましたが、

に感謝しています。 国の舞台に立て、試合ができたこと を受け、 高校は全国選抜大会への出 県予選も開催できず、 染症の影響を受け、 い状況もありましたが、 定しました。 茨城県も新型コロ 思うように練習ができな 大会前も様々な影響 全国選抜大会 ナウイルス感 推薦で守谷 無事に全 温場が決

す。 ちの実力不足と、 題をしっかりと克服していきたいで 夏のインターハイまでに今回の課 を発揮する難しさを痛感しました。 全国選抜大会を通して、 全国の舞台で力 自分た

ができました。夏のインターハイで ていただいて、大会に出場すること 0) れる選手を目指しています。 の方々から応援していただき、 して心を磨き、 全国選抜大会においても、 守谷高校剣道部では、 皆さんから応援さ 剣道を通 支え 沢山 今回

大会直前に新 は、 に精進してまいります。 の方々に恩返しができるように、 目標である日本一となり、 多く

選抜大会を通して

ない状況でした。

督以外は会場に入ることすらでき



水戸葵陵高等学校 田 中 志 道

頃の練習ですら思うようにできな 止となり、 法が新たに加わりました。 にともない、 前から新型コロナウイルス感染症 11 カル大会や練習試合、さらには日 の頃は主要な大会がすべて開催中 環境に置かれてしまいました。 私たちは、 それだけでなく、 高校に入学する少し 暫定的な試合、 一年生 審判 口 l

そして、 が「高校最後の」になった今、 活を日々過ごしてきました。 ないときはぶつかり合い、 るようにと、同じ寮の仲間とお互 ない」「みんな同じだから」と諦め いに励まし合い、 しかし、この境遇を「しょうが 少しでも跳ね返すことができ 三年生になり、 思うようにいか 全てのこと 高校生

更 会は当然無観客であり、 それに出場しました。 開催できることになり、 校最後の全国高等選抜剣道大会が しかし、 選手、 私たちも

大

と思いました。 さっていたというのです。その熱が、 が実際に春日井の地に集まり、 試合に挑みました。後から聞い もらっているように感じ、 だけではない、 まで必死に乗り越えてきた過去の 私の背中を押してくれていたのだ 面越しに自分たちを応援してくだ 話によると、私たちの保護者の方々 自信に溢れ、 自信をもって会場に入ると、 経験や、 そして迎えた試合当日、 日々の練習によって得た 誰かに背中を押して なぜか根拠のな そのまま 私は今 それ 画

ず勝ち取ると、 固まりました。 るよう、 くださる方たちの期待に応えられ 果を得られませんでしたが、 きた仲間たちを信じ、 から始まる夏に向けて、応援して 今回の大会では、 コロナの脅威に打ち勝って 私の決意はさらに 思うような結 日本一を必

高

令和4年度県内剣道行事関係スケジュール

	п	reen	り作っ十次示が、近り手以がへ		-> /W			
月	日	曜	行 事	場所	主催			
	2	土	県民総体兼国体予選(剣道)	県武道館	高体連			
	9	土	剣道・杖道合同稽古会(土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連			
	10	日	杖道三段以下審査会	桜水会	茨 剣 連			
	16	土	全日本女子剣道選手権予選会	県武道館剣道場・柔道場	茨 剣 連			
7	16	土	剣道合同稽古会(水戸)	県武道館剣道場	茨 剣 連			
月	16	土	居合道合同稽古会(水戸)	日本農業実践学園体育館	居合道部			
	17~18	日・月	県民総体(中学の部)	県武道館	中 体 連			
	24	日	関東七県対抗剣道大会	県武道館大道場	関七協			
	30	土	茨城県剣道団体選手権大会 (シニア含む)	県武道館大道場・剣道場	茨 剣 連			
	30	土	県中学生剣道団体選手権大会	筑西市下館総合体育館	茨 剣 連			
	30	土	居合道合同稽古会(土浦)	わかぐり運動公園体育館	居合道部			
	6	土	第 39 回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会(剣道大会)	県武道館	県ス協			
	6	土	居合道合同稽古会 (水戸)	日本農業実践学園体育館	居合道部			
	7	日	剣道称号受審者講習会	県武道館剣道場·会議室	茨 剣 連			
	7	日	剣道合同稽古会(水戸)	県武道館剣道場	茨 剣 連			
8月	20	土	剣道・杖道合同稽古会(土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連			
/,	20	土	居合道合同稽古会(土浦)	わかぐり運動公園体育館	居合道部			
	27	土	全日本剣道選手権茨城県予選	県武道館大道場	茨 剣 連			
	28	日	居合道伝達講習会	県武道館大道場				
	28	日	第 23 回茨城県ジュニア剣道大会	ひたちなか総合体育館	茨 道 連			
	3	土	剣道・杖道合同稽古会(土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連			
	3	土	居合道合同稽古会(水戸)	日本農業実践学園体育館	居合道部			
9 月	4	H		リリーアリーナ MITO(青柳体育館)	茨 実 連			
	10	土	居合道合同稽古会(土浦)	わかぐり運動公園体育館	居合道部			
	17	土.	居合道 四段以下講習会(前期)	石岡総合体育館	居合道部			
	19	月・祝	茨城県剣道祭	県武道館大道場	茨 剣 連			
9	19		剣道合同稽古会(水戸)*剣道祭の後	県武道館大道場	茨 剣 連			
月	23	金·祝	剣道八段受審者講習会	県武道館大道場・会議室	茨 剣 連			
	24	土	居合道五段以下審査会(秋季)	県武道館剣道場	居合道部			
	1		剣道・杖道合同稽古会(土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連			
	2	H	剣道三段以下審査会(つくば)	桜総合体育館	茨 剣 連			
	8	土	剣道三段以下審査会 (水戸)	県武道館剣道場・柔道場	茨 剣 連			
	10		常任理事会	県武道館会議室	茨 剣 連			
	10		剣道合同稽古会(水戸)	県武道館剣道場	茨 剣 連			
10	16	日 日	剣道三段以下審査会(石岡)	石岡総合体育館	茨 剣 連			
月	16	H	居合道五段以上講習会	霞ヶ浦文化体育館	居合道部			
	22	土	居合道合同稽古会(水戸)	日本農業実践学園体育館	居合道部			
	26~27		茨城県新人体育大会	水海道総合体育館	中体連			
	29	土	居合道合同稽古会(土浦)	わかぐり運動公園体育館	居合道部			
	30	日日	いきいき茨城ゆめ国体開催記念地区・職域対抗剣道優勝大会	筑西市	茨 剣 連			
	5	土	常任理事会・理事会・地区等会長合同会議	フェリヴェールサンシャイン	茨 剣 連			
	6		常住理事会・理事会・地区寺会長行内会議 武道フェスティバル	- フェリウェールリンシャイン - 県武道館	県武道館			
		日		- 「 - 「 - 「 - 「 - 「 - 「 - 「 - 「				
11 月	12	土	県高校団体勝抜き大会(男子) 民会党会同様士会(水戸)		茨 剣 連			
'	12	土	居合道合同稽古会(水戸)	日本農業実践学園体育館	居合道部			
	13	日日日	県高校団体勝抜き大会(女子)	かなくぼ総合体育館	茨 剣 連			
	13	H	第 38 回茨城県剣道少年団研修会体験・実践発表会	日立市十王総合健康福祉センター	茨 道 連			

月	B	曜	行事		主催
	19	土	剣道四・五段審査会	県武道館大道場・剣道場・柔道場	茨 剣 連
	19	土	剣道合同稽古会 (水戸)	県武道館剣道場	茨 剣 連
	20	H	居合道支部対抗大会・演武大会	ひたちなか市総合体育館	居合道部
11 月	20	B	杖道伝達講習会	つくば市	杖 道 部
73	23	水·祝	県下剣道優勝大会	水戸市	水戸東武館
	26	土	剣道・杖道合同稽古会(土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連
	26	土	居合道合同稽古会(土浦)	わかぐり運動公園体育館	居合道部
	3	土	居合道合同稽古会(水戸)	日本農業実践学園体育館	居合道部
	4	H	茨剣連 70 年記念祝賀会	水戸市	茨 剣 連
	10	土	剣道合同稽古会(水戸)	県武道館剣道場	茨 剣 連
	11	H	杖道三段以下審査会	桜水会	茨 剣 連
12 月	17	土	第 45 回全国スポーツ少年団剣道交流大会茨城県大会	県武道館	県ス協
	17	土	剣道・杖道合同稽古会(土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連
	18	日	第1回茨城県学年別剣道選手権大会	県武道館大道場	茨 道 連
	24	土	授業協力者養成講習会 (剣道)	県武道館大道場	茨 剣 連
	24	土	居合道合同稽古会(土浦)	わかぐり運動公園体育館	居合道部
	4.5	水·木	茨城旗争奪選抜高校剣道大会	アダストリア水戸	茨 剣 連
1 月	7	土	居合道合同稽古会(水戸)	日本農業実践学園体育館	居合道部
	8	日	第44回全日本剣道少年団研修会関東地区体験発表会	日立市十王総合健康福祉センター	全 道 連
	9	月・祝	剣道審判法講習会	県武道館大道場・剣道場	茨 剣 連
	14	土	剣道・杖道合同稽古会(土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連
	20	金	県高校剣道新人大会兼全国選抜大会予選 (個人)	石岡運動公園体育館	高 体 連
	21	土	茨城県三部対抗剣道大会	県武道館剣道場	茨 剣 連
	21	土	剣道合同稽古会 (水戸)	県武道館剣道場	茨 剣 連
	21	土	居合道合同稽古会(土浦)	わかぐり運動公園体育館	居合道部
	26	木	県高校剣道新人大会兼全国選抜大会予選(男子団体)	県武道館	高 体 連
	27	金	県高校剣道新人大会兼全国選抜大会予選(女子団体)	県武道館	高 体 連
	28.29		地域・青年・女子講習会(剣道)	県武道館	茨 剣 連
	4	土	剣道合同稽古会 (水戸)	県武道館剣道場	茨 剣 連
	4	土	居合道合同稽古会(水戸)	日本農業実践学園体育館	居合道部
	11	土	剣道三段以下審査会(つくば)	桜総合体育館	茨 剣 連
	12	日	全日本都道府県対抗剣道大会:県予選(男)	県武道館大道場	茨 剣 連
2 月	12	H	居合道五段以上講習会	ひたちなか市総合体育館	居合道部
73	19	H	剣道三段以下・四・五段審査会	県武道館大道場・剣道場・柔道場	茨 剣 連
	23	1	剣道段位・級位審査員研修会	県武道館大道場	茨 剣 連
	25	土	剣道・杖道合同稽古会(土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連
	25	土	居合道合同稽古会(土浦)	わかぐり運動公園体育館	居合道部
	26	H	居合道演武大会	ひたちなか市総合体育館	居合道部
	4	土	剣道合同稽古会(水戸)	県武道館剣道場	茨 剣 連
	4	土	居合道合同稽古会(水戸)	日本農業実践学園体育館	居合道部
	12	H	居合道四段以下講習会(後期)	霞ヶ浦文化体育館	居合道部
3 月	12	日上	剣道四~七段受審者講習会 剣造、杜英へ同辞十会 (土油)	県武道館大道場	茨 剣 連
/1	18	土	剣道・杖道合同稽古会(土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連
	19	日上	常任理事会・理事会	フェリヴェールサンシャイン	茨 剣 連
	25	土	居合道合同稽古会(土浦)	わかぐり運動公園体育館	居合道部
	26	日	第 64 回全国選抜少年剣道錬成大会	水戸市	水戸東武館

がたしたちののである。

ます。各地区の道場を紹介していき今号より新しい企画として

伝わることを願います。各道場の持ち味、雰囲気が

よろしくお願いいたします。も順次紹介していきますので、今回紹介できなかった道場

紹介しました道場について

て紹介していますので、ご覧詳しくは茨剣連ホームペジに

ください。

目指しています。 対益を通して心身を磨き立派





代表者 大窪 裕

壽

満 生

博

般財団法人 水戸東武館(水戸地区)

智

小八 澤



と、稽古に励みます。

い行いをします。」の三誓願のも

「勉強します、剣道します、

良

ばせている 良くする 剣道を通じて社会の規範を学 時間を守る、挨拶をする、 仲





結城尚武館(結城地区)

雄

ました。

本年度より事務局の体制が代り

今回の第65号の会報は、

範士拝





接することにより人格の完成を 愛情と情熱を持って子供達に

目指している





早乙女事務局長(後列左)、鈴木隆事務局次長(後列右 関根事務局員(前列左)、清水事務局員(前列右)

た。 た。 幸先の良いスタートとなりまし 勝大会で見事「日本一」になり、 に第70回全国都道府県対抗剣道優 と関根信子事務局員が加わりまし の他に、新たに鈴木隆事務局次長 早乙女事務局長と清水事務局員 新たな体制でスタートした早々

0

皆さまのご協力を得て業務に邁進 お願いいたします。 していきますので今後とも宜しく これからも事務局員一同会員の

> 次第です。 ご寄稿に感謝申し上げます。

令和四年六月

水戸市堀町一一六一ー一三 剣 連 廣 報

発

行人

広報委員長 一般財団法人 委員 委員 茨城県剣道連盟 場江野子嶋 千 克 勝恒 晶也隆喜徳

印刷紙器株式会社

ことになりました。 ることや、古武道についても学ぶ びを感じる内容となりました。 のことなど、日ごろより益して喜 くの方の昇段、 また、剣道具について初めて知 髙﨑先生の京都での立ち合 本県の質の高さを再確認した 都道府県大会初優勝、 合格体験記、 また多 白寿

(村嶋

事務局だより



